

シリーズ「グローバル・ジャスティス」
第23回

なぜ今イランが問題なのか — アラブの春とイラン・米国



中西久枝

グローバル・スタディーズ研究科 教授

イランの核開発問題をめぐり、米国とイランの関係は今年に入りさらに緊張度が高まっている。イランの核開発問題をめぐり対立する米国は、さらに経済制裁を強化した。なぜ、イランと米国は対立するのか。イランの人々は今何を思い、生活しているのか。イランでの現地調査をもとに、こうした問題をやさしく紐ときます。

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科では、連続セミナー「グローバル・ジャスティス」を開催いたします。このセミナーは、現代世界が直面するさまざまな課題における「ジャスティス」の問題を、講師が自らの視点で語っていくものです。したがって、どのような視角で、何を問題としてジャスティスを論じるかは講師にゆだね、主催者は一切の方向性をあらかじめ規定いたしません。ジャスティス(正義)という言葉のもつ多義性や問題性もふくめて、多様な議論の場として提供していくものです。

日時： **1月18日(水)**

18:30-20:00

会場： **講武館 104** 番教室

共催：同志社大学一神教学際研究センター

科学研究費補助金「中東における紛争防止の学際的研究の構築」(代表者：中西久枝)

来聴歓迎・予約不要

同志社大学
グローバル・スタディーズ研究科

tel. 075-251-3930

e-mail. ji-gs@mail.doshisha.ac.jp